

国際ロータリー会誌 プレンティエステス

ロータリーを祝おう 100年の歩み
CELEBRATE ROTARY

IBARAKI ROTARY

Club Weekly Bulletin

RI第2660地区 茨木ロータリークラブ 創立 昭和34年(1959年)12月23日



事務所 大塚町茨木市七中委一丁目9-20 茨木商工会議所 TEL (072) 622-2255 〒567-0881
 例 会 毎水曜日12時30分 ホテル日航茨木大塚 茨木市中懸橋一丁目1-10 TEL (072) 620-2121
 会 長/長澤利治 幹 事/久保義誓 会報委員長/河原崎 啓
 委 員/中西 裕見 武西



姉妹クラブ:台北西北区扶輪社
 友好クラブ:インドネシア・チネレRC

No. 2 1 平成16年12月22日

本 日 の 卓 話
12月22日(水)
「茨木3RC合同忘年家族親睦会」
3RC親睦活動委員会

例会記録

第2218 回例会 12月15日(水)晴
 ロータリーソング「茨木ロータリークラブの歌」斉唱
 ゲスト・スピーカーご紹介
 西田 大氏(キャノシテムリユウシヨウズ 株式会社)

会長の時間

長澤利治会長

先週12月11日(土)に私と幹事で、来年3月第3週の1週間受入れることになっています GSE の委員会に出席してまいりました。
 委員長クラブになっていますので、簡委員長より説明を受けてきました。又いろいろな面で協力が必要になってくると思いますのでよろしく願います。
 今回はスウェーデンより5名が来日されます。「ロータリーの友」12月号に、このスウェーデンで、自国及び海外のロータリークラブの援助を受け、ウラ・ベリタ・バーム氏がエクワドルの、ゴミを掻き分けて生活の糧としている女性達のために、「廃棄物集積場(ゴミ捨て場)基金」を創設し、支援している記事がありました。
 我クラブでも昨年、幹事、山口国際奉仕委員長と共に

出席報告

第2218 回例会			前々回(第2216 回)		
会員数(免除)	出席	欠席	出席率	欠席	補正出席率
30(9)	15	6	71.43%	2	90%

チネレRCのメンバーと、同じようにゴミの山で生活している場所に、双子の姉妹(45周年に出席頂いた)が、コンテナを継ぎ合わせて無料の診療所を開設し、彼らの衛生面をサポートしているのを見学してきましたが、この記事からも、いろいろな面で奉仕が広がっていく過程が書かれてありましたのでご紹介致しました。

幹事報告

久保義誓幹事

- 1、例会変更(北摂11RCの例会変更)
 高槻RC:12/29(水) 12/23(祝)
 クリスマス家族会のため 於:たかつき京都ホテル
 1/12(水)高槻新年合同例会 於:々
- 2、RI及び2660地区連絡事項
 1)会員増強・退会防止の手引き 2部
 2)次年度ロータリークラブ役職者報告
 3)地区大会へのパネル出展のお礼
- 3、茨木市、他RCよりの依頼事項
 1)第2590地区大会の案内
 1/28・29 於:パシフィコ横浜会議センター
 2)第57回茨木市成人祭の案内
 1/10(月) 於:ユーアイホー
- 4、理事会報告は本日の会報に掲載

委員会報告

青少年・RC委員会

秋山 勤委員長

12月21日(火)の茨木RACクリスマス例会の参加者は現在3名ですので、多数のご出席をお願いします。

親睦活動委員会

中西 勝委員長

来週の3クラブ合同忘年家族例会出席者合計145名となっております。
 オークションの品物とプレゼント交換用の品物についてもよろしく願います。

卓 話

「福祉施設の病床システムについて」

キャノンシステムソリューションズ(株) 西田 大氏

1. 自己紹介

キャノンシステムソリューションズ(株)とは

キャノンシステムソリューションズ(キャノン SOL)の母体は、1982年に設立された情報サービス企業である住友金属システム開発(株)です。2000年に住友金属工業(株)のシステム関連会社及び、住金のシステム研究開発部門を合併し、2003年にキャノン販売(株)に買収されて現在に至っています。株主はキャノン販売(株)100%で、1220名、ここ数年の売上は200-300億円です。

主な事業は、企業の情報システム構築事業、ネットワークシステム構築事業、企業及び個人向けのパッケージ商品事業です。

数理技術部とは

私が所属している、SI 先端技術センター 数理技術部は、1962年に住金の研究所の一部門として設立されました。その後、システム研究部門として鉄鋼の生産現場における、生産・物流計画システム(例：大きな鉄板にお客様のサイズの異なる注文を無駄が少なくなるように割り当てる)や、工場への設備投資のための事前シミュレーション(投資計画の設備能力で、想定される生産量が本当に出せるか検証する)などの活動を行ってきました。

2001年から住金から現キャノン SOL に移管され、現在は、幅広い業種の法人を中心としたお客様に対して、複数の答えが考えられるようなシステムや問題の、最適な答えを提供できるように、コンサルティングやシステム提案・構築を行っています

2. 介護老人保健施設を取巻く状況

福祉施設の種類と介護老人保健施設

本日の話題である福祉施設には、入所介護型老人施設と在宅介護型老人施設の2種類に分かれます。また、入所型には、介護保険対象と対象外の施設に分類できます。介護保険が適用される入所型には、特別養護老人ホーム(介護老人保健施設)、グループホーム、介護老人保健施設等があります。

介護老人保健施設(老健)は、病状が安定していて、病院での入院治療が不要な高齢者の方々(病気や負傷などで寝たきりの状態の方が)、医学的な管理の元で介護やリハビリの医療サービスと日常生活の介護サービスを受け、自立を目指して家庭復帰するための施設です。原則として、3ヶ月すると退所しなければなりません。また、在宅型の介護サービスである、ショートステイやデイサービスも行っている場合が多くあります。

老健のかかえる問題点

老健では、利用者の重症化が進み、自宅への復帰率が低下しています。利用者によっては、ある老健での3ヶ月の利用期間を過ぎても退所できない、または別の老健に移動するケースが増えています。一方、施設の利用待ちは年々増加しているという現実もあります。さらに、3ヶ月(ロング)の利用は施設の経営安定性には寄与するのですが、ショートステイの受入れという機能も求められており、病床管理が複雑になっています。病床(ベッド)を効率的に利用し稼働率を高めることが、経営的にも社会要請としても求められています。

3. 病床管理(ベッドコントロール)システムの概要

対象の老健と導入の背景

今回、ベッドコントロールシステムを導入されたお客様(老健)は、静岡県の100床の老健施設です。この施設の事務長(COO)は民間企業出身の方で、合理的な考え方をお持ちでした。稼働率連動のボーナスを設定するなどして、施設スタッフの意識を改革し、施設一丸となって稼働率向上に取り組んでおられました。しかしながら、先に述べた複雑な病床管理(ベッドコントロール)業務がネックとなり、思うように稼働率向上がすすまなかったのです。当時(2003年冬)の、老健向けの基幹システム(レセプトシステム[介護給付費請求計算など])に含まれる病床管理システムでは、主に実績管理(過去の情報)が目的で、未来の予約をいかに効率的に割り当てるか、といった目的のシステムはありませんでした。

複雑なベッドコントロール業務

この老健でのベッドコントロールは、支援相談員の方が担当しています。利用者からの利用予約を電話で受け、希望期間の入所の可否を回答します。そのときに、先1-2ヶ月の予約状況を確認し、一人部屋希望や、男女が同部屋にならないようにしたりと、条件に合致するようなベッドを探します。時には、期間中の途中で一人部屋から二人部屋に移る、などといった複雑な割当をする場合もあります。

この予約状況は、ホワイトボードに、横方向に日付、縦方向にベッドが配置された表を作成し、長方形のマグネットを予約1件として貼り付けたもので確認します。マグネットには、利用者名と予約期間が水性ペンで書かれています。100床の施設では、この表が100段になってしまい、途中でベッドを移動する割当を探すのは至難の業です。

ベッドコントロールシステムの特徴

今回開発したシステムでは、ホワイトボードの表をパソコン上のチャートで表示できるようにし、加えて複数のベッドを移動するような複雑な割当でも自動的に見つけられるような仕組みとしています。

これによって、利用者からの予約問い合わせに対して即座に空きの有無を回答できるようになり業務が楽

になりますし、これまで見逃していた複雑な割当が見つけられるようになって稼働率が上がることが期待できます。もちろんパソコンですので、帳票が自動的に作成できたり、稼働率の推移のグラフが見れるなどの便利機能も備わっています。

4. おわりに

この老健では、導入前に95%の稼働率が限界でしたが、97-98%まで引き上げることが可能になりました。また、予約もこれまでは当月と翌月しか受け付けられなかったものが、何年も先の予約でも受けられるようになりました。加えて、支援相談員の作業負荷が減り、本来の介護に関する支援相談業務に専念できるようになっています。

今回のベッドコントロールシステムは、小さな改善ではありますが、拡大する高齢化社会に対して、施設利用者・施設経営者・施設スタッフの皆にメリットのある、社会性の高いシステムと自負しております。

本日は、ありがとうございました。

ニコニコ箱

日野岡 S.A.A

中村先生ありがとうございました チョット良いことがありました

秋山

山口さんに2年前の写真をいただいて

日野岡

出席率が悪くイチローの打率なみで申し訳ありません 来年こそは(毎年申しておりますが)良い出席率を目ざします

木本

本日計 17,000円

累計 1,046,476円

次回卓話

「新年挨拶」

長澤利治会長